

# スレート・板金金具 施工マニュアル

販売店・工事店様用

## もくじ

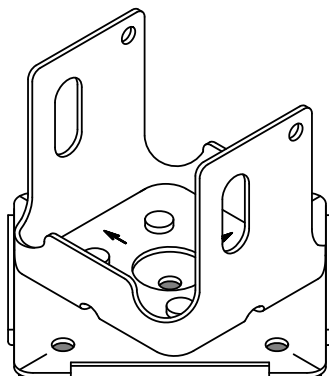
1. 架台 . . . . . p1
2. スレート・板金金具 . . . . . p2

## ◆ 仕様 ◆

太陽電池モジュール 横置

野地固定

## スレート対応



## 設置工事をされる方へお願い

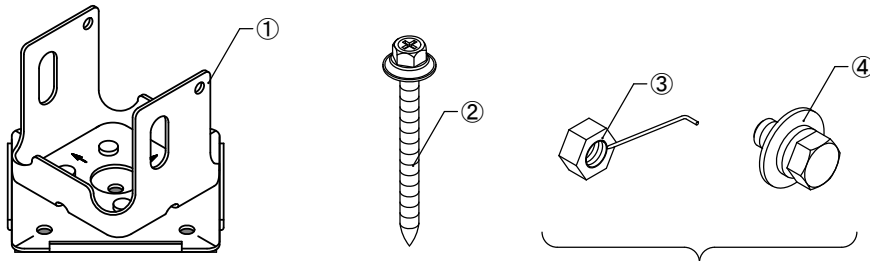
- 据付工事を始める前に施工マニュアルをよく読み、正しく安全に据付けてください。
- 据付け強度を確保するため、施工マニュアルの据付方法を守ってください。
- 据付工事は販売店・工事店さまが実施してください。（第2種電気工事士の資格必要）
  - 据付工事は高所（2m以上）作業で転落の恐れがあります。また、感電のおそれもあるため、「労働安全衛生規則」に従って施工してください。
- 取付け部材は、必ず付属品を使用してください。
- 本施工マニュアルは支持部材のみの施工マニュアルとなります。
- 建築強度については考慮されていないため、販売店様、施工店様にてご確認ください。

# 1. 架台

## 1) 支持部材

### ①スレート・板金金具セット

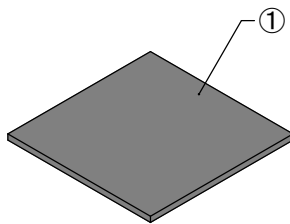
品名	数量
① スレート・板金金具	1
② 木ネジ 5.0×60 (W・P付)	5
③ M8リボンナット	2
④ M8-**セムスポルト	2



※『スレート・板金金具施工マニュアル』に使い方の説明は記載していません。  
縦横を固定する際に使用します。

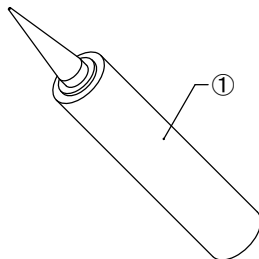
### ②追加ブチルセット (別名:シングル対応追加セット)

品名	数量
① 増し貼り用ブチル	2



### ③コーキング

品名	数量
① コーキング	1



※金具10個/本

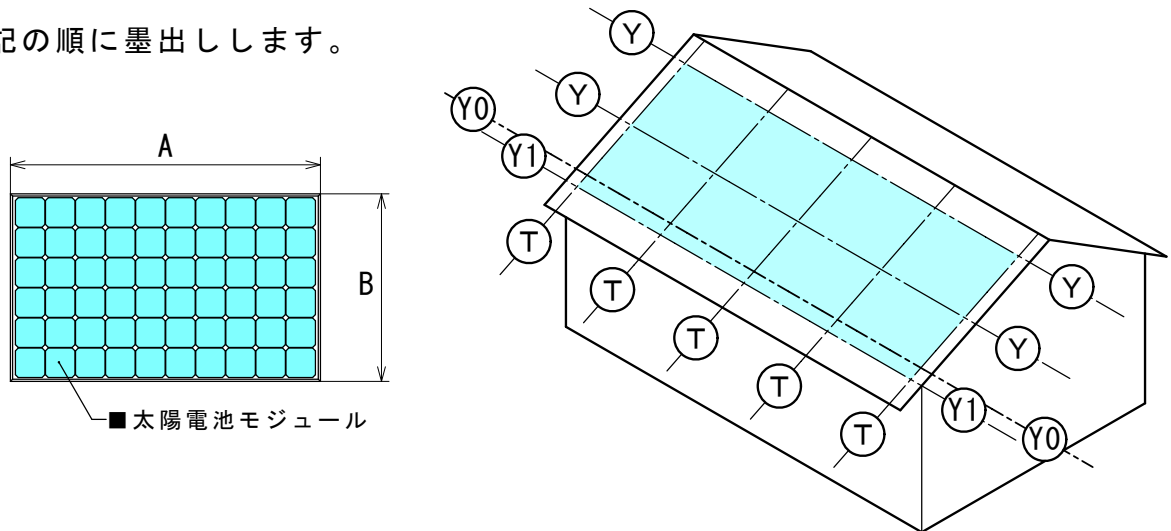
## 2. スレート・板金金具

### 1) 太陽電池モジュール位置の墨出し

太陽電池モジュールレイアウト図に従い、太陽電池モジュールの据付け位置の確認を行います。

- ① Y0ライン：屋根材の段差より64mm軒側（軒先のスレート・板金金具の中心）
- ② Y1ライン：Y0ラインより250mm軒側（縦棧の先端）
- ③ Yライン：Y1ラインより  $B$ （太陽電池モジュールの短辺寸法）+ 隙間寸法<sup>※1</sup>
- ④ Tライン： $A$ （太陽電池モジュールの長辺寸法）+ 隙間寸法<sup>※1</sup>

上記の順に墨出しします。

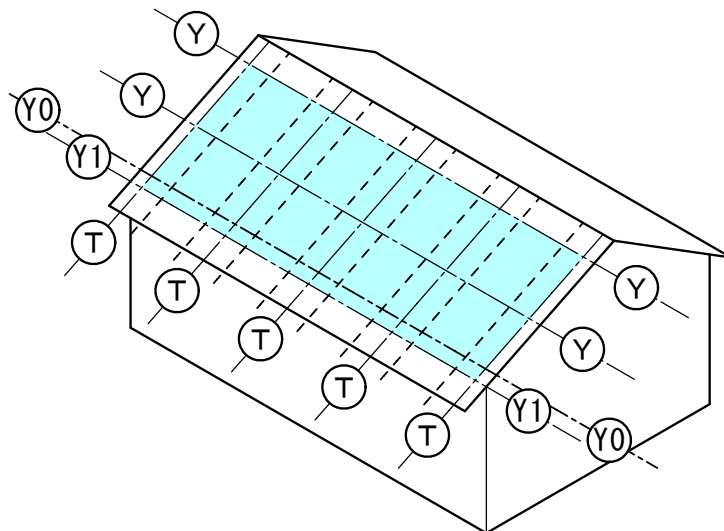


※1. 隙間寸法は工法によって異なります。

詳しくは別冊の『設計条件編』をご参照ください。

### 2) 縦棧位置の墨出し

- ① 太陽電池モジュールの片持ち長さに合わせ墨出しを行います。



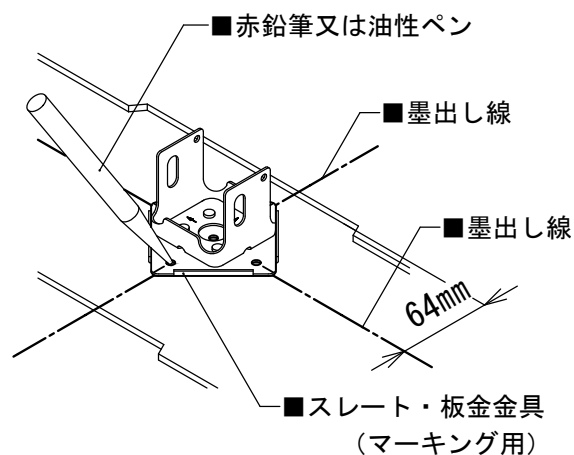
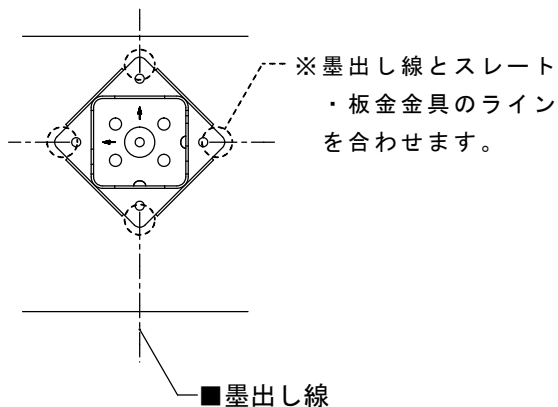
### 3) 軒先以外のスレート・板金金具の墨出し

- ① 軒先以外のスレート・板金金具の墨出しを行います。

※屋根材に対するスレート・板金金具の取付け位置は、屋根材の段差より64mm軒側です。

#### 4) スレート・板金金具の固定

- ①スレート・板金金具を墨出し線上に置き、Y0ラインと縦棧ラインの交点と上下左右の木ネジ固定穴の5箇所をマーキングします。

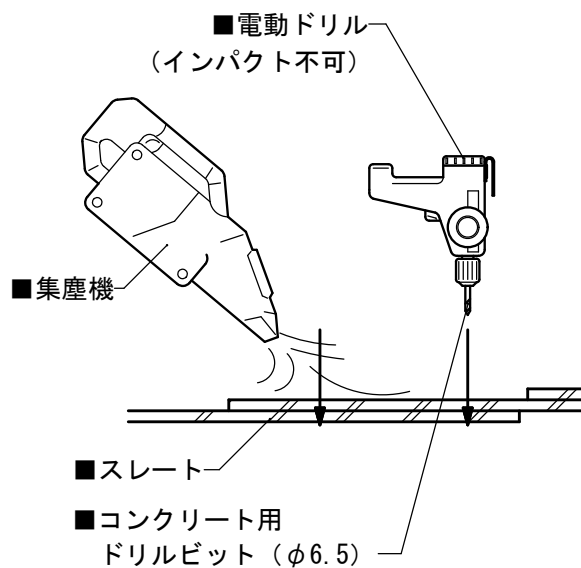


- ②スレート・板金金具を退かし、マーキング位置にコンクリート用ドリルビット (φ6.5) でスレートのみに下穴をあけます。

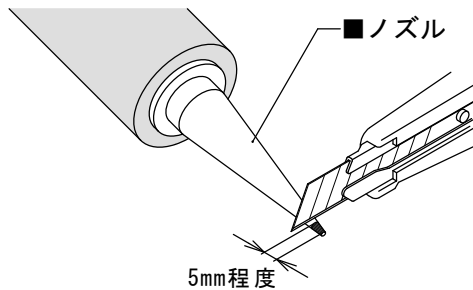
### ！ 注 意

野地板まで下穴をあけないでください。  
木ネジが効かなくなります。  
下穴加工の際には、電動ドリルを使用してください。

- ③下穴の切り粉を集塵機などで取除きます。



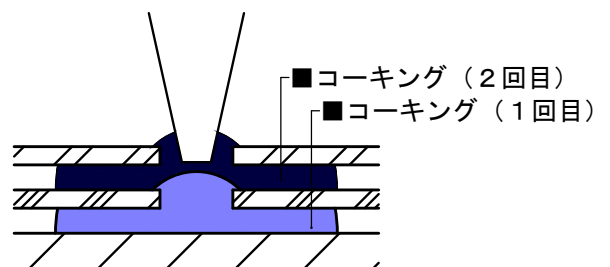
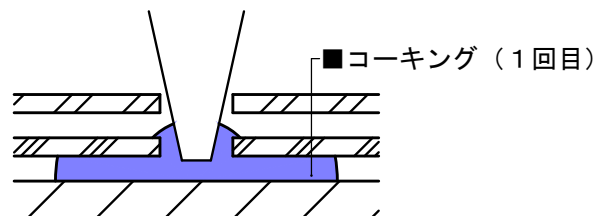
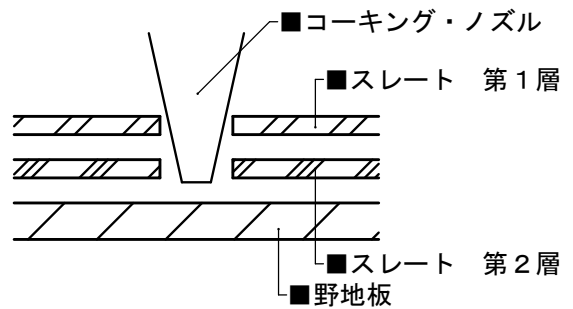
- ④コーキングのノズルの先端を5mm程度カットし、下穴にコーキングを十分に注入します。



右図の要領でコーキングを注入してください。

### ！ 注意

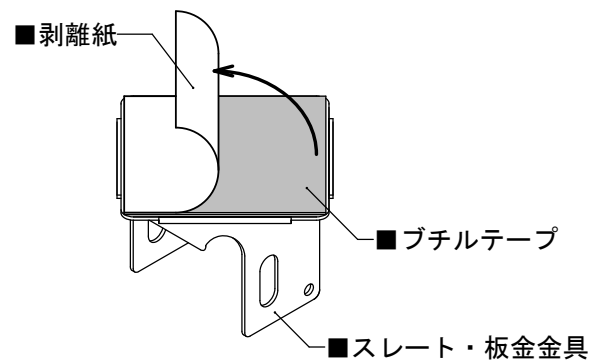
コーキングの注入量は、一連の作業で一握り程度です。



- ⑤ブチルテープの剥離紙を確実にはがします。

### ！ 注意

剥離紙が残った場合は、防水性が損なわれ雨漏りの恐れがあります。

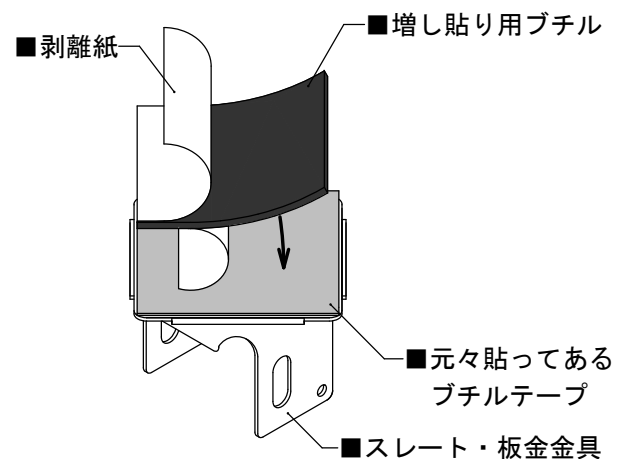


- ※グランネクストサンドに対応する場合のみ、スレート・板金金具に増し貼り用ブチルを貼付けてください。

この時、剥離紙は確実に剥がしてください。

### ！ 注意

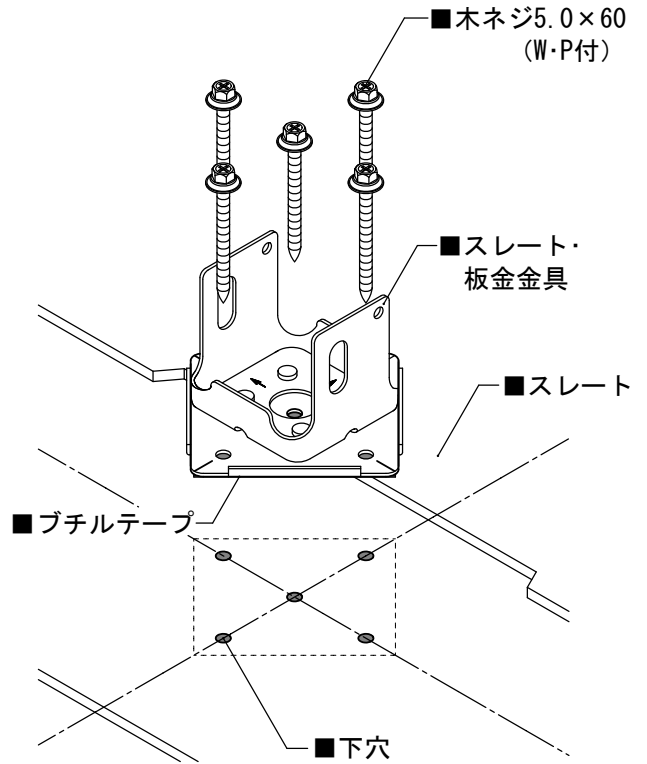
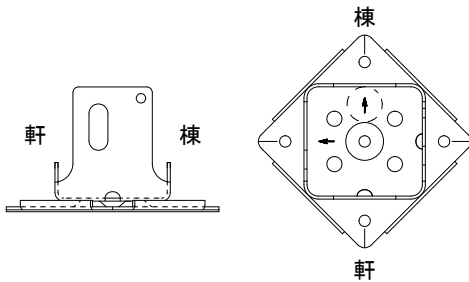
剥離紙が残った場合は、防水性が損なわれ雨漏りの恐れがあります。



- ⑥スレート・板金金具を墨出し線上に合せ、木ネジ5.0×60 (W・P付)で締付けます。  
作業後、スレート・板金金具がスレートに密着していることを確認します。

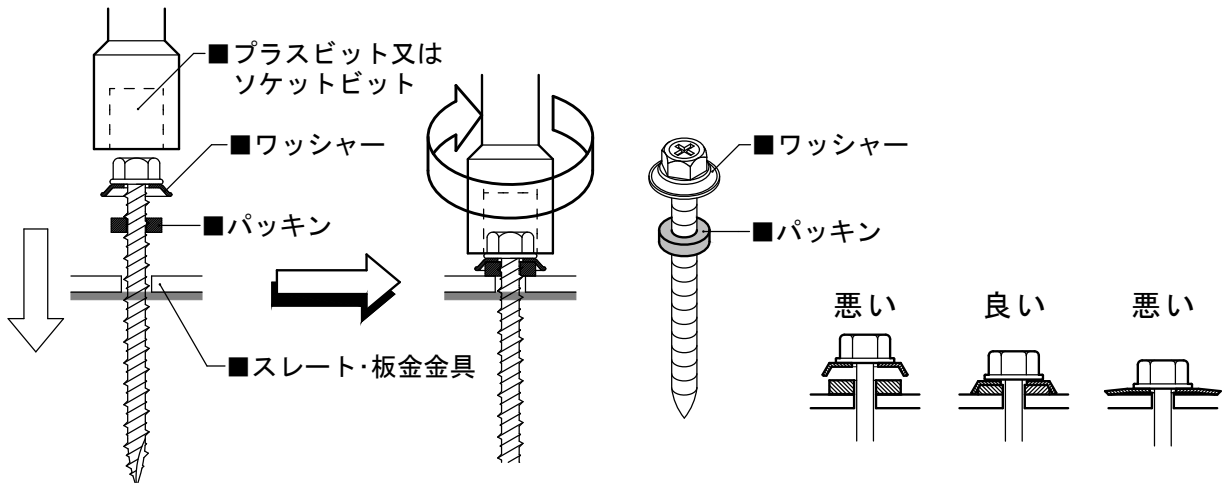
## ！ 注 意

- ・金具の向きに注意してください。
- ・↑が棟方向となります。(図参照)



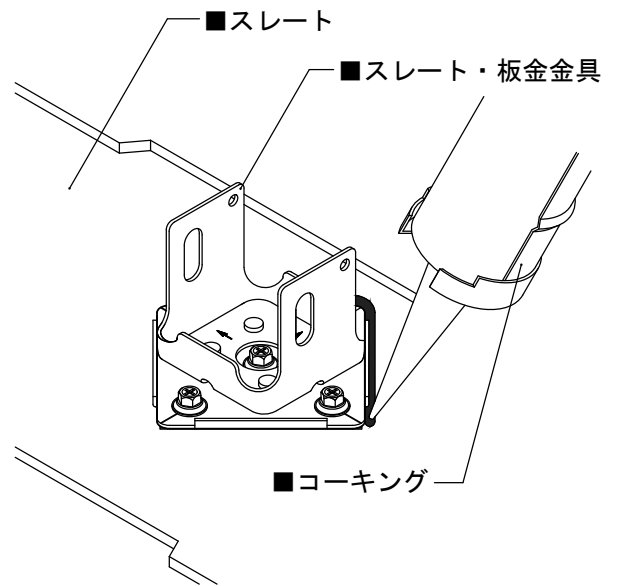
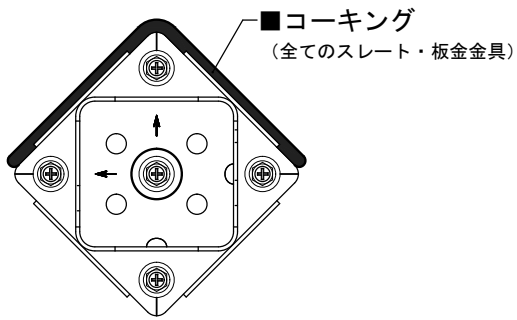
## ！ 注 意

木ネジは締め過ぎないようにご注意ください。  
締付け目安は、ワッシャーが手で回転しない程度です。



(木ネジの締付けによる過度の力を、スレートに伝えないためです。)

- ⑦スレート・板金金具の周囲（棟側2辺）にコーキングを施します。



## ！ 注 意

スレート・板金金具の軒側は、入り込んだ雨水を排出する目的のため、コーキングしないでください。

## 推 奨

ネジ頭にもコーキングを行うことで、止水性を向上させることもできます。

⇒以降、太陽電池モジュールの施工については『太陽電池モジュール据付工事説明書（施工マニュアル）』をご参照ください。

